

## 研究名

免疫関連有害事象対策強化に対する取り組みとその評価  
～チーム医療の充実を図る～

### 1.研究の対象

2016年2月～2020年8月までにICI（ニボルマブ、ペムプロリズマブ、アテゾリムマブ、デュルバルマブ）を使用した患者126名

### 2.研究目的・方法

免疫チェックポイント阻害薬（以下、ICI）は適応拡大もあり済生会横浜市南部病院でも使用患者は増えており、免疫関連有害事象（以下、irAE）の発生報告も増えている。2019年10月より院内がん化学療法検討部会を中心に検査セット統一化等の運用を開始し、irAE対策強化を図った。薬剤部化学療法担当者は、ICI使用患者には電子カルテにて職員へのirAEの注意喚起を行い、当日投与前に検査値を確認しirAE疑い症例については追加の検査依頼や他科併診等フィードバックを行っている。また、薬剤導入時には体調確認シートを配布し薬剤指導を実施している。介入前後のirAE発生状況や併診状況の変化や薬剤師介入事例について調査したため報告する。

介入前後での併診状況や介入状況の比較や発生状況を電子カルテにて後方視的に調査した。また、重症度評価は各種薬剤適正使用ガイドを元に行った。

### 3.研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報

### 4.外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

### 5.研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせ下さい。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 高木 淳也